

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成29年 3月 15日

和泉市長 あて

団体名 三林柔道育成会

代表者名 藤原 隆寿

所在地

電話

平成28年5月6日付け和泉公民第331号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 480,088 円
(うち、対象経費 480,088 円)

2. 交付決定額 323,485 円

3. 添付書類

- (1) 事業報告書（様式第12号）
- (2) 収支決算書（様式第13号）
- (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

<p>事業の名称</p>	<p>武道必修化による柔道ふれあい体験事業</p>
<p>事業内容</p>	<p>(主な対象者) 幼児 ～ 一般 (事業の実施期間) 平成28年4月中旬～平成29年3月12日 (事業の実施場所) 和泉市いぶき野小学校体育館 桃山学院大学体育館柔道場 (事業内容) 初心者を対象とし、柔道を安全に健全に実施できるように基本的動作を身につけるための講習会を実施している。</p>
<p>事業の成果 *別紙添付可</p>	<p>(参加者・スタッフの人数の状況) 参加者数 20人、 スタッフ数 8人 (参加者の声) 事業を受ける前、受けた後 ・学校で柔道を授業があったり、オリンピックで話題になったりで興味があり、子どもに習わせたいと思っていたが、適切な場所を見つけるのは難しいと思っていた。身近に、小さな児童にも柔道を教えている場があるのは助かります。 ・最初は怖い・難しいというイメージがあって気が進まなかったけれど、優しく丁寧な指導をしてもらえし、今は楽しみにしています。 ・兄弟がいないので、柔道に行くとお兄ちゃん達がいっぱいいいて楽しくやっています。 (事業を実施したことによる目標達成状況及び効果) これまでの体験者は、ほとんどが三林柔道関係者の紹介者でしたが、ちょいずのおかげで、4月から6月にかけて広報を見ました。という問い合わせが多数あり、ちょいずに参加することで柔道をより広げることが出来ました。 幼い子どもたちにも柔道を体験する場を提供し、柔道を本格的にやりたいという意気込みをもつ子も出てきました。柔道ならではの礼節を重んじる空気のおかげで、子ども同士のつながりも出来たし、基本的な動作から習得させることで子どもの学校の体育指導の時間等での安全も図れたと考えています。 (今回の申請事業の反省点) 指導面では、今年度は幼児と低学年の体験者が多かったということもあり、ボランティア指導員の協力を得ながら指導を行ったが、柔道の楽しさ伝えきれず体験後は続かなかった参加者もいました。</p>
<p>課題（今後の方向）</p>	<p>柔道を習ってみたいと考えている市民が多い中、それに対する三林道場の知名度は、まだまだ低いと言える。和泉市でも柔道を習うことができることを広めていきたい。 また、柔道により、礼儀・克己・遵法の精神を養い、健全な青少年の育成と人材の育成にもつなげていきたい。</p>

(添付書類) 事業内容のわかる写真4～5枚 (写真は返却いたしません。)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称：

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	240,044	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	20,000	1,000×20名
自主財源	220,044	
合計	480,088	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	44,428	大会審判謝礼・体験合宿参加賞（15名分）
役務費	23,792	保険料等
消耗費	157,912	救急用品・事務用品等
食料費	14,528	指導者・審判員飲食代
旅費	212,960	指導者旅費
印刷製本費	0	
使用料及び貸借料	26,468	会場使用料
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	480,088	
対象経費	480,088	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

(添付書類)

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。